

洞爺湖町の

# 子どもたちの 学力の向上を目指して

## ～平成 30 年度全国学力・学習状況調査の結果概要～

昨年の4月17日(火)に全国一斉で学力・学習状況調査が行われました。

児童・生徒の学力向上には、学校はもちろん、保護者や地域の皆さんにも現状を理解してもらい、学校・家庭・地域が連携していくことが必要なことから、学力調査の結果や当町の学力向上対策の概要についてお知らせします。また、町のホームページでは、児童・生徒質問紙調査、学校質問紙調査なども掲載します。



■問合せ 教育委員会管理課学校教育グループ (☎ 74-3009)

### 調査の対象

町内の小学校6年生 63人(3校)  
町内の中学校3年生 40人(2校)

### 調査の内容

#### ①学力調査

- ・主に「知識」に関する問題～A問題(国語A、算数A、数学A)  
身に付けなければ後の学習内容に影響を及ぼし、実生活で不可欠な知識や技能を問うもの
- ・主に「活用」に関する問題～B問題(国語B、算数B、数学B)  
知識や技能などを実生活のさまざまな場面に活用する力を問うもの
- ・理科の問題は、A問題、B問題を一体的に出題

#### ②学習状況調査

- ・児童・生徒質問紙調査(生活・学習習慣に関すること)
- ・学校質問紙調査(学習指導に関すること)



## 学力調査の結果

### 1. 各教科の平均正答率

平均正答率は、各平均正答数を設問数で割った値の百分率です。都道府県と市町村の平均正答率%は、文部科学省方針で小数点以下を四捨五入表示としています。

#### ■小学校

	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
洞爺湖町	66%	48%	60%	46%	56%
北海道(公立)	70%	53%	62%	49%	59%
全国(公立)	70.7%	54.7%	63.5%	51.5%	60.3%

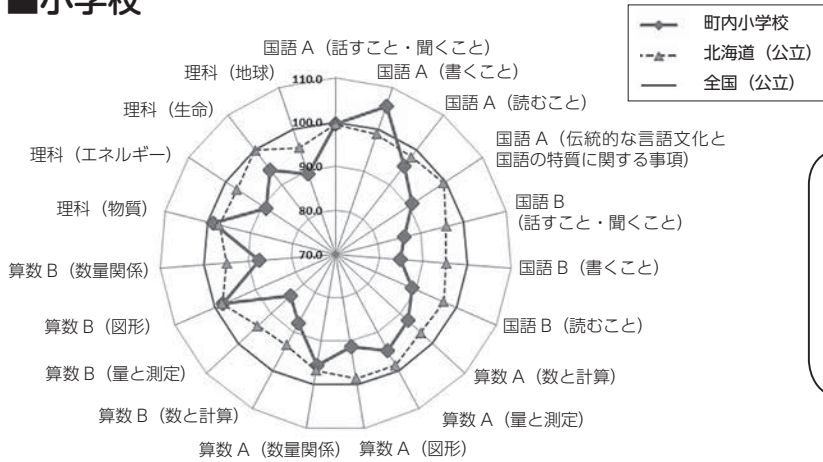
#### ■中学校

	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
洞爺湖町	68%	48%	49%	30%	55%
北海道(公立)	77%	61%	65%	46%	67%
全国(公立)	76.1%	61.2%	66.1%	46.9%	66.1%

## 2. 各教科の状況

教科の領域別に全国を100とした場合の全道と洞爺湖町の状況をレーダーチャートで示したものです。(洞爺湖町の平均正答率÷全国平均正答率×100で算出)

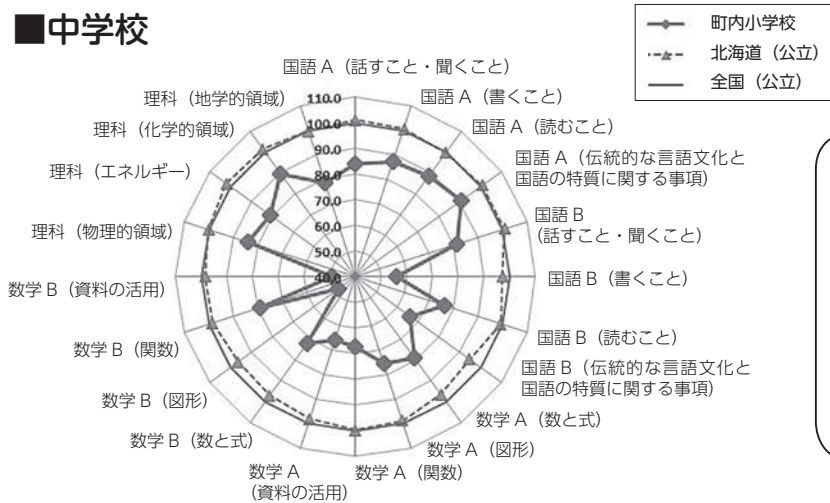
### ■小学校



### 傾向

- ・国語 A では、「書くこと」が全国を上回っています。
- ・算数 A では、「数量関係」、B では「図形」で全国に最も近くなっています。
- ・理科では、「物質」で全国に最も近くなっています。

### ■中学校



### 傾向

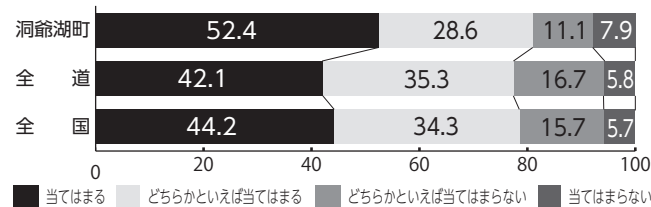
- ・国語 A では、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、B では、「読むこと」で全国に最も近くなっています。
- ・数学 A では、「数と式」、B では、「関数」で全国に最も近くなっています。
- ・理科では、「生物的領域」で全国に最も近くなっています。



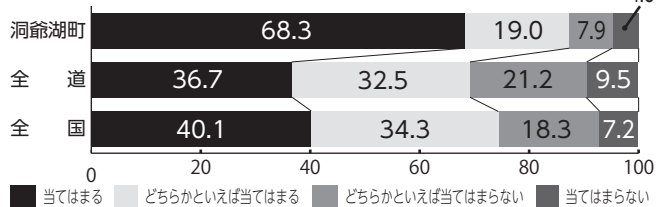
## 児童・生徒への質問

### ■小学校

Q 算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えている

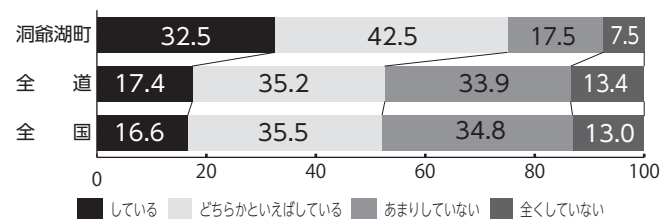


Q 5年生までに受けた授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があった

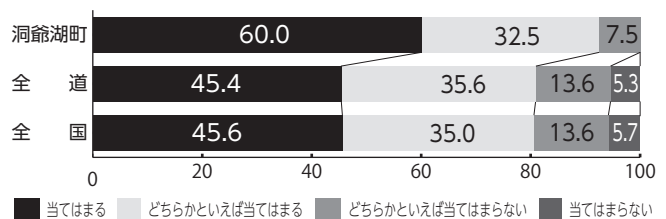


### ■中学校

Q 家で、自分で計画を立てて勉強をしている



Q 数学の授業で問題の解き方や考え方がわかるようにノートに書いている

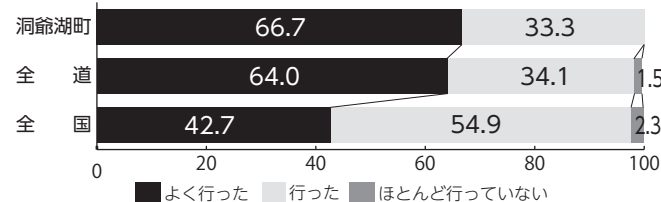




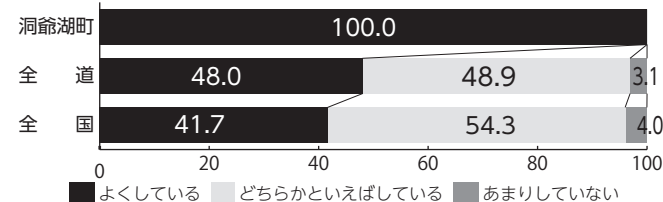
## 学校への質問

### ■小学校

Q 平成 29 年度全国学力・学習状況調査の事項の分析結果について、調査対象学年・教科だけでなく、学校全体で教育活動を改善するために活用した

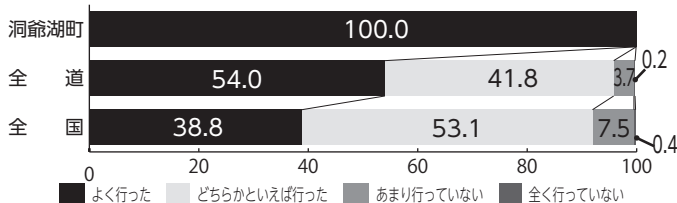


Q 指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源などを地域などの外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせた

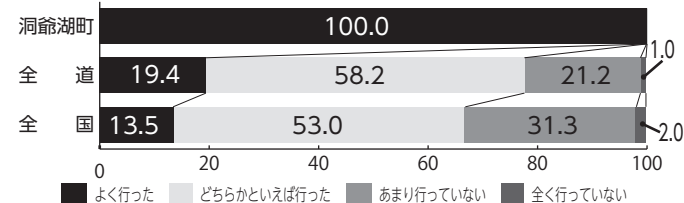


### ■中学校

Q 調査対象の学年の生徒に対して、前年度までに、保護者に対して生徒の家庭学習を促すような働きかけを行った



Q 調査対象学年の生徒に対する数学の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行った



## 分析

### ■小学校

#### ○児童への質問から

- ・算数の授業で、「もっと簡単に解く方法がないか考えている」と回答した児童の割合が、全国を上回っています。
- ・「授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があった」と回答した児童の割合が、全国を上回っています。

#### ○学校への質問から

- ・今回の調査を「学校全体で教育活動を改善するために活用した」と回答した学校の割合が、全国と全道を上回っています。
- ・全学校が、「指導計画の作成に当たっては、教育内容や教育活動に必要な人的、物的資源などを、地域などの外部資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせた」と回答しています。



各学校が、調査の分析結果を学校全体で教育活動の改善に活用した結果、算数の授業では、児童が自力解決や相互交流し、深い考察ができるようになってきています。

各学校が、指導計画を作成する上で、地域などの外部の人的、物的資源を含めて活用しながら組み合わせたことにより、児童が地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会が多くなりました。

### ■中学校

#### ○生徒への質問から

- ・「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した生徒の割合が、全国と全道を上回っています。
- ・「数学の授業で問題の解き方や考え方がわかるようにノートに書いている」と回答した生徒の割合が、全国を上回っています。

#### ○学校への質問から

- ・全学校が、指導計画の作成に当たっては、「教育内容を相互の関係で捉え、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列している」と回答しています。
- ・全学校が、「数学の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行った」と回答しています。



学校が、保護者に対して生徒の家庭学習を促すような働きかけを行ったことにより、家で計画を立てて勉強する生徒が増えてきていると考えられます。

学校が、調査対象学年の生徒に対する数学の指導として、前年度までに発展的な学習の指導を行ったことにより、生徒は、数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書くようになってきたと考えられます。



## 洞爺湖町の学力向上への取り組み

- ①洞爺湖町スタンダード 10 研修委員会で策定した「洞爺湖町自立的学びのためのスタンダード 10」の全時的取り組みへの支援
- ②長期休業中や放課後の補充学習と町の放課後学習支援（地域未来塾）の実施
- ③教職員の資質向上のための町独自の講師招請学力向上講演会の開催
- ④町独自の「標準学力調査（全面改訂版）」の実施
- ⑤支援員の手厚い配置
- ⑥平日、土日の家庭学習強化の取り組みの実施（PTAへの呼びかけ文書の作成など）

